

よねさとづくり通信

No.166

よねさとづくり協議会
令和5年12月1日発行



町内会だより ～ 中大路 ～

中大路町内会は現在36戸、120名の方々が暮らしています。中大路では、だるま踊り、奴踊りが古くから受け継がれ、現在も多くの人々を楽しませています。倉田八幡宮の春と秋の祭りには、氏子祭りとして奉納しています。だるま踊りは、地区は勿論、県外からも声がかかるように誰からも親しまれ、笑顔が絶えません。観音祭り、お地蔵祭りも年間行事の一つとして伝承しています。また、コロナ禍を除き毎年欠かさず実施しているのが年2回の防災訓練です。消火栓を開き放水までの一連の動作を学び体験したり、実際に消火器を持って消火、また災害についての講習会を行っています。鳥取大地震から80年の今年には地震についての講習会を実施しました。

今後大切に思うことは、高齢化が進む中での隣近所の声掛けを密にし、互いに協力し合うことだと思います。さらに希望とすれば、大路山の登山道を中大路中心部からでも登れるよう整備していただければ身近な登山のきっかけになるのではと思います。

今以上に安心安全で笑顔の絶えない魅力ある町内会を目指しています。今日も歩道脇に見事に並んだプランターの花が時季時季に通学通勤の人たちの目を楽しませ、癒されているのではないのでしょうか。
(中大路区長 山崎 節)



あと1か月で新しい年を迎えます。各町内会では年末年始に総会等を開催されるかと思いますが、コロナ禍で町内会をめぐる状況も変わっています。この機会にしっかり話し合い、将来の世代に引き継いでいきたいものです。

米里まつり、にぎやかに開催

10月28日（土）と29日（日）、地区体育館や小学校体育館とグラウンドを会場に「米里まつり2023」が開催されました。好天に恵まれ、ケーブルテレビでも紹介された初日のだるま踊りや米里音頭、米里かるた大会、2日目オープニングの中学生ソーランなどもあり、2日間で延べで約800人にお越しいただきました。準備いただいた皆さん、運営に当たっていただいた皆さん、作品を出展いただいた皆さん、ありがとうございました。

*2日間の様子は、後日、特集号でお届けします(12月発行予定)。

YouTube「米里チャンネル」でもご覧になれます。



オープニング



作品展示



米里かるた大会



中学生ソーラン

自家用車以外の移動手段 ～使ってみてわかること～

各地で新たな移動手段も生まれています。飲酒機会の増えるこれからの年末年始、雨や雪の日の通学や通院など、マイカーに頼るだけでなく、一度使ってみてはいかがでしょうか？

「とりモビ」実証運行中（2月9日まで）



乗降地点はエリア内に約150あります。詳しくはこちら



*現在は雲山地内だけが運行エリアですが、今後エリア拡大する可能性があります。

10月から駅南でAIを活用した乗合タクシーが実証運行されています。決まったルートやダイヤはありません。1回400円でエリア内の乗降地点間を動けます。使い勝手を試してみてください。地区として要望も考えます。

「米里線」ダイヤ等改正から半年

今年4月に米里線のダイヤやルートを見直し、前年より利用が大きく増えています。しかし、現在の利用状況では存続は依然厳しく、越路方面の公共交通がなくなるのではないかと心配されます。

